

締め括りのまとめと所感

Closing Summary and Remarks

司会：近藤 正幸，科学技術政策研究所客員総括主任研究官／横浜国立大学大学院教授

ウィリアム・スペンサー William Spencer，全米アカデミー 科学技術経済政策委員会／SEMATECH 元会長

イノベーション政策は長期の経済成長に大きな影響を与える重要な政策であり、全米アカデミーは今回のコンフェレンスのような外国との比較研究プログラムを強化し、効果的なイノベーション政策の在り方を探求していきたいと述べた。半導体やバイオ分野の技術では大きな転換期を迎えており、IT やバイオ分野の強いアジアは重要な役割を果たし、その中で日本がリーダーシップを取っていくことが必要であると指摘した。

長岡 貞男，一橋大学イノベーション研究センター長，教授

本会議のユニークな点として、本会議が日米の共同プログラムであったことと、大学、産業界、政府から多様な参加者があったことを指摘した。イノベーションを効果的に進めるための政策や制度のあり方には、さらに多くの証拠と分析が必要な未解決の問題も多く、今回のコンフェレンスが日米の専門家の更なる協力を促す契機となることを期待すると述べた。